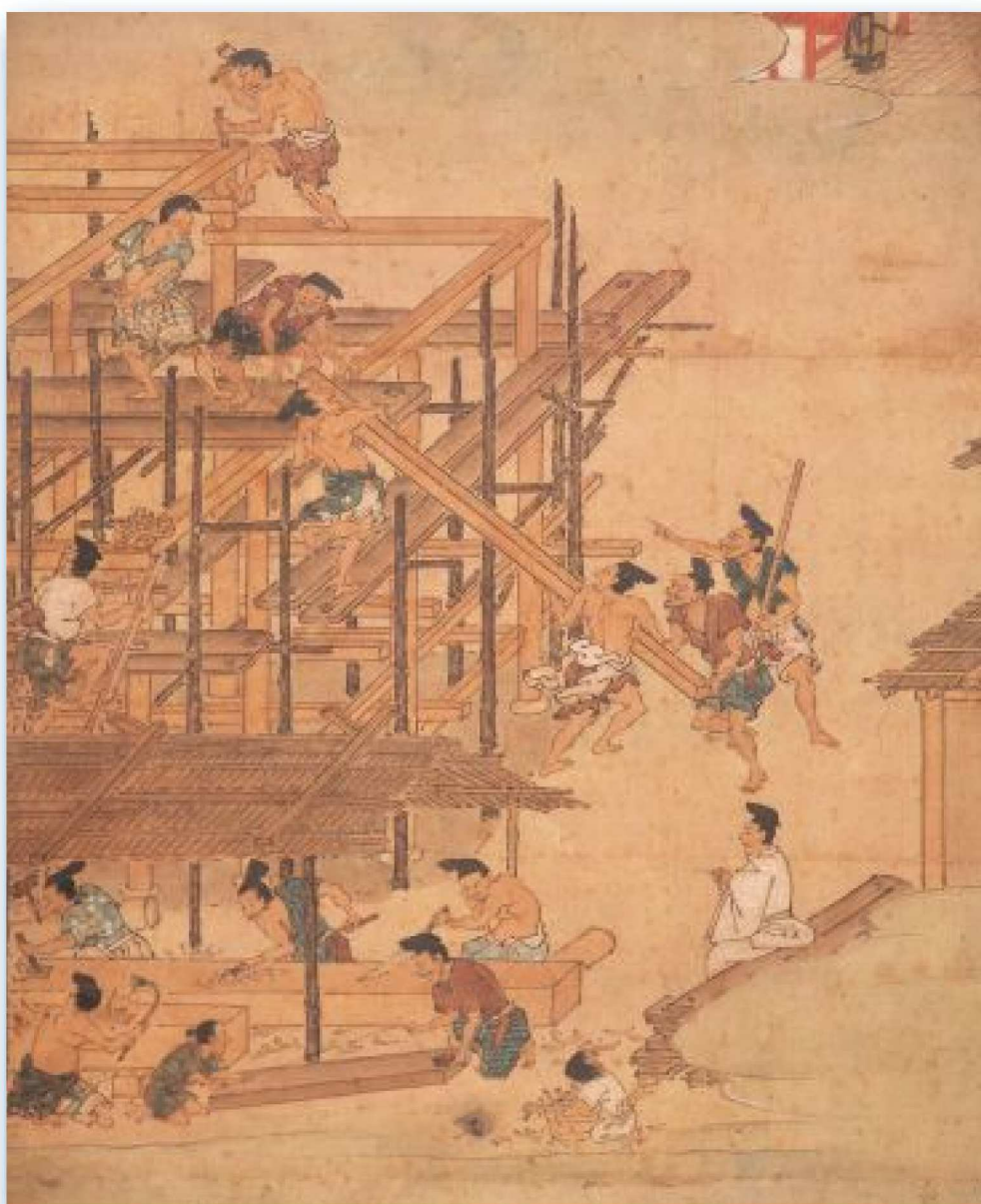


ちわい



浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺



◆ 鎌倉時代の誓願寺再建 —『誓願寺縁起絵』より— ◆

「ヤリがんな」や「ちょうな」などの古来の道具を使って、生き生きと作業する大工たち。
その右端で施主となった為家が合掌して見守る(「誓願寺縁起物語」参照)

◆ 目次 ◆

- 慈光(第十回)
- 誓願寺縁起物語(第十四話)
- まんだら絵解き **27**
- 元祖法然上人八百回大遠忌にむけて③
- インド **ドタバタ** 夫婦道中記 **17**
- 総本山誓願寺だより
- 何でも「お寺探偵団」 Vol.21 三福寺

慈光 10



「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？鈴木皓道先生のお寺岡崎市本宿町「慈光院」より拝しました。

【「勿体ない」の心】

昭和五十年頃の夏、ある寺で起きた出来事です。菩提寺の「盆施餓鬼」に老若男女、大勢の人が先祖供養に訪れ、その順番を待っていました。四十分ほど待っている裡に涼しい本堂ですから、ついついうたた寝が始まるのは常々のことです。

ある老婆が「〇〇さんお焼香を」と呼ばれ、「はい」と大声で返事をした時、下腹に力が入ったのでしょうか、スカートのファスナーがはずれたのです。…とは、本人は気づかず、さっと立ち上がると…。(こ想像通りの出来事となっていました)

唯、老婆の身に付けていたものが、お若い娘さんが履く色よい物でしたからその色合いがとても鮮明で、爆笑の渦と。とうとう僧侶の方も。

まさかこんな事になろうとは思っていなかったでしょう。お参りは小休止でした。この老婆は捨ててしまうような物でも「物を粗末にすると勿体ない」の心から起きてしまった出来事です。今、私どもの身の周りに心を留めると「勿体ない」ことばかりです。

法然さま御在世の頃は麻のゴツゴツした布、桑ノ木の繊維の蕎布団、継ぎ接ぎの衣服で、法然さまもその品々をお召しになっていたのです。

そればかりか、戦中戦後(特に昭和十九〜二十四年頃)、我々の生活は全く惨めで、干してある赤子の「オムツ」すら盗まれた世の中でした。その時代を過ごした私は、この老婆の「勿体ない」の心が手に取るように判り、この出来事を微笑んで見詰めたのです。

お経には「四事に足るを知る」とあります。四事のひとつに「衣類」があります。今の私どもは、貧しい国の人々より、戦火の国の人々より物に恵まれております。『勿体ない』の心を片隅に残したいものです。

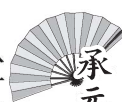
誓願寺縁起物語せいがんじえんぎもの

【第十四話】

小島 英裕

承元三年の火災と

為家による再建



つちみかど

八十三代土御門天皇の時代、
承元三年（一二〇九）四月九日、

突然、誓願寺本堂から火災が発生し、お堂は残らず焼失してしまいました。ところが不思議なことに、本尊さまだけは少しも被害を受けませんでした。人々は喜び、まず仮殿を造り本尊さまを移しました。

伊勢の権守ごんのかみためいえ為家は、何年もの間、貧しい生活を送り、住まいは侘びしく、全て成り行きまかせの生活を送っていました。為家はこれを歎き、どうにかして財産や幸福が手に入るようお願い、京都北山の鞍馬寺へ参り、祈願の年月を重ねました。



誓願寺仮堂に参詣する為家

ある日、いつものように鞍馬寺へ行こうと思い、誓願寺の門前を通りすぎた時のことです。

急な雨に遭遇し、しばらく誓願寺本堂の外陣で休んでいたところ、歩行の疲れもあり、知らぬ間にまどろんでいました。その夢の中に、多聞天さまが現れ告げました。「あなたは何故、遠く北山まで参るのか。我は鞍馬の多聞天である。我の分身が、この誓願寺の道場を守護するために常に誓願寺外陣に住し

ている。今日より後は、誓願寺に参り一心に本尊を礼拝し念仏しなさい。我は阿弥陀如来を念ずる人々が無事に過ごせるよう擁護している。我一人ではなく諸々の天人も擁護している」と告げられると夢から覚めました。



多聞天像を彫る常慶上人

為家は、不思議に思い誓願寺僧侶に尋ねました。僧侶は、かつて、常慶上人が一度鑿のみを振うたびに三度礼拝して多聞天像を彫刻したお話をしました。為

家は「霊夢に間違いない」と、それより後は、鞍馬の参詣を止め、ひたすら誓願寺へ足を運びました。そして遂に、財産や幸福が願いの通りになりました。

しかし為家は、誓願寺が火災に遇ったことを嘆いていました。「私が豊かな財を得ることができたのも、すべて誓願寺御本尊さま、並びに多聞天さまのご利益のお陰。報恩感謝の気持ちで、財を再建の費用に充てていただこう」と大願をおこし、上皇の許可を得て再興を果たしました。この功績により為家、為忠、子孫代々、誓願寺の檀家となり家門は永く繁栄しました。

（つづく）

極楽のようす ⑪

「極楽の空」

極楽浄土の空には、たくさん
の仏さまたちがいらつし
やいます。

阿弥陀さまは、観音さま・

勢至さまとともに、化身けしんとな
って空に浮かんでおられます。

地上だけではなく、あらゆる
場所に阿弥陀さまはいらつ
しやるのです。

あるいは、他の世界からや
ってきた仏さまたちも、まる

で雲のように極楽に集合して、
阿弥陀さまの功德をほめたた
えます。

仏さまだけではありません。

上半身は人、下半身は鳥の姿
をした迦陵頻伽かりようびんがが、空を舞つ
ています。

また、琵琶びわや太鼓たいこといった

楽器が浮かび、演奏する者も
いないのに、自然にキレイな
音色ねいろを鳴らします。

それに加えて、花びらが、ど
こからともなく降りそそぎ、見
たこともないような美しい景

色です。

こうして見るもの聞くもの、
すべては阿弥陀さまの教えで
あり、功德でもあります。それ
らを見聞きすることで、私た
ちは心が澄み切ったような安
らかさを感じるでしょう。

極楽では、いつでも、どこで
も、このようなすばらしい世
界が広がっています。私たちは、
極楽では少しも悩んだり苦し
むことはありません。何一つ
わずらわされることなく、ひ
とすじに悟りを目指して修行
することができます。



玄義分「虚空会 三尊飛来」(見取図45)



玄義分「虚空会 勢至光変」(見取図44)

◆ 当麻まんだら見取図 ◆

11	45		12
10	44	43	13
9			14
8			15
7	41		16
6			17
5	40		18
4			19
3	39	35	20
2		36	21
1	38	34	22
			23
			24
33	32	31	30
29			28
			27
			26
			25

序分義 散善義 定善義



元祖法然上人八百回
大遠忌にむけて⑧

「法然さまのお言葉」くお伝記の中よりく

「ただ、そのままにて、
もっぱら念仏すべし」

後鳥羽上皇が御所留守の折、法然上人の弟子の念仏布教により御所の女官が出家されました。その出来事が逆鱗に触れ、弟子は処刑、法然上人は都より土佐の国へ流罪となりました。

その途中、播磨の国(兵庫県「室の泊(港)」での遊女への説法です。

遊女「生活する方法にはさまざまありますが、私たちは前世にどのような罪があつてこのような身になったのでしょうか。どのようにしたら後の世に救われるでしょうか。」



法然上人の船に近づく室の泊の遊女たち(野村春陵写『法然上人行状絵図』第34、蓮華寺所蔵)

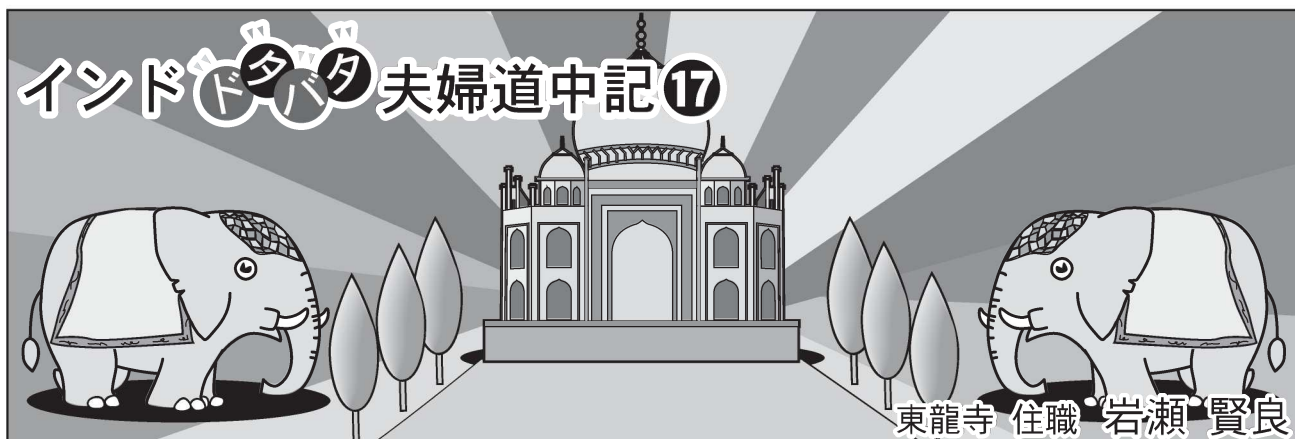
法然上人「もし、このような仕事をしないで生活する手段があれば、早く今の仕事は止めるべきです。しかし、そのほかに方法もなく、また身命をかけて行いたいことが見つからなければ、その境遇のままでもいいから、ただひたすら念仏を申しなさい。阿弥陀さまは罪深い人の為にこそ誓願をお建てになられました。本願を信じ、決して自分を卑下してはいけません。往生することに疑いありません。」

当時は、戦争や天災による飢饉・病気の流行で京の都に

も死者があふれたといいます。そのような時代ですから、生活していくのは大変なことだったでしょう。とても将来について希望など持てないことだったと思われます。

しかし、法然上人は出家した僧侶だけでなく在家のままでも「南無阿弥陀仏」のお念仏で浄土往生ができるとお示し下さいました。法然上人から直接教えを頂いた遊女は、自分の魂の落ち着く先が、浄土にあると安心し、迷える暗闇の中に暖かく明るい場所を発見した喜びでした。

魂の落ち着く場所が決まると行動が変わってきます。開けてくる世界も変化してくるものと思います。そこそが、お念仏して阿弥陀さまの光明に護られて生活していくことです。(布教師会)



旅程変更で無理をなくす

宿泊しているホテル・マーブルパレスで軽く朝食をとってから、次の旅程が気になっていたので、検討をし直すことにした。このホテルの社長とも会って話をしたら、従業員より流暢な日本語が話せたので、とても良いアドバイザーになってくれた。予定していたスケジュールでは無理があることや、効率よく行く為にはどの駅まで行ったらいいとか、カジュラホーの寺院群のガイドは社長自ら友達プライス(友達価格。これはインド人がよく使う手)で、安く案内してくれる事などを教えてくれた。

朝食後、ホテルの社長とスタッフのバルシュ君、そして運転手を交えて、この日と翌日の行程の見直しを検討した。その結果、この日の午後のカジュラホーを出てサンチーまで(直線距離では一五〇キロメートル程)行くと夜遅くなる。翌朝に

サンチーの仏塔を見てからでは、予約したジャルガオン行きの列車には間に合わない。だからサンチー行きは諦めて列車をキャンセル。カジュラホーにもう一泊し、車でジャンシー駅まで行き、そこから列車でアジャンターに近いもう一つの駅、ブサワールまでの夜行列車のチケットを予約してもらうことになった。

こうなってしまうとは、親目的な周りの人たちを信じるだけで、後はもうお任せ状態である。列車などのタイムスケジュールをしっかりと書いてくれて、説明してくれたので信用できるものではあった。これらの変更に関して運転手は、あくまでも彼自身のせいで変更になったのではない、と云う説明を会社宛に書いて欲しいと頼むのだった。どうやら会社の管理が厳しく、恐れている様な感じだったので、僕は快く説明を書いた。書くに

しても和英辞書と格闘するのは時間が勿体ない。会社の上司は日本語に堪能なのは解っていても漢字や平仮名までは読めないであろうから、日本語をアルファベットの文字にして書いたのである。

気分を新たに、社長の日本語ガイド付き友達価格でヒンドゥー寺院群を見学に出かけた。すぐ近くの六つある西寺院群は全体がフェンスに囲まれていて、そこだけに入場料を取っていて、外国人価格で一人五ドル(約五五〇円)だった。



—「カジュラホー村の子供たちと・・・」—

総本山誓願寺だより

《読経のご案内》

総本山誓願寺では随時、読経廻向を承っております。

ご廻向料……一霊 五千元

《納骨のご案内》

「永代納骨」

ご本尊の須弥壇下にある納骨堂へ期限を設けず安置いたします。ご命日には戒名を読み上げご供養致します。

ご納骨料……一霊 二十万円

「須弥壇納骨」

ご本尊の須弥壇下にある納骨堂へ二十年間安置いたします。ご命日には戒名を読み上げご供養致します。将来、永代納骨への切替もできます。

ご納骨料……一霊 十万円

「普通納骨」

京都伏見区深草の祖廟真宗院にある納骨堂にお納め致します。総本山誓願寺で法要を修行した後、合同で納骨致します。

ご納骨料……一霊 五万円

*ご納骨をご希望の方は、檀那寺（菩提寺）を通じてご予約をお願い致します。一般の方は、総本山誓願寺へ直接ご連絡をお願い致します。

その他、詳細は左記へお問い合わせ下さい。

（お問い合わせ先）

電話 〇七五—二二—〇九五八
FAX 〇七五—二二—〇〇一九
E-mail seiganji@skyblue.ocn.ne.jp



おもな行事予定

八月

●十五日(金)

六阿弥陀功德日

●十九日(火)～二十日(水)

少年少女参拝団

九月

●十八日(木)

開山歴代忌 十三時

六阿弥陀

●二十日(土)～二十六日(金)

秋彼岸

十月

●八日(水)

六阿弥陀

●十三日(月)

策伝忌 十三時

十一月

●二日(日)

元祖法然上人八百回

大遠忌お待ち受け法要

(第一教区法雲寺)

●十三日(木)～十四日(金)

第七回洛陽三十三観音

霊場巡拝

●二十日(木)

総本山西山忌十四時

●二十四日(月)

六阿弥陀

十一月

●二十四日(水)

お身拭式 十三時

六阿弥陀

クイズコーナー

【問題】

京都三福寺で青少年育成の為に指導されていることは何でしょう？（漢字3文字）

〇〇〇 拳法

官製ハガキに答えて、郵便番号、住所、氏名、菩提寺（だんな寺）、感想や質問を必ず書いて送ってください。今回は三福寺さまより「竹筒」を五名、本山謹製線香を五名の方に、合計十名に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四三二五二三

岡崎市藤川町字中町南十五番地

稱名寺内 ちかい編集係

【締切】

九月三十日
（消印有効）

答え 〇〇〇
郵便番号
住所
氏名
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

ちかい 第123号

発行日 平成二十年七月一日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話(〇七五) 二二—〇九五八
FAX (〇七五) 二二—二〇一九
E-mail seiganji@skyblue.ocn.ne.jp

何でお寺探偵団

三福寺

Vol.21



今回は、少林寺拳法道場「洛東道院」を開かれています。京都市の「九品山・阿弥陀院 三福寺」を訪ね、道院長でもある森川ご住職にお話をうかがいました。

Q1 お寺の由来を教えてください。

三福寺は、鎌倉時代、浄土宗西山派東山義3代目の漸空了観上人が開創された由緒ある寺院です。漸空上人は、深草派の祖師である顕意上人と問答を交わされるほどの優れた僧侶でした。当寺は後に深草派に合流し、誓願寺（現、総本山）や円福寺（元、大本山）とも肩を並べる寺格を誇っていました。

しかし享保5年（一七〇八）の火災や、明治の廃仏毀釈によって荒廃し、一時は畳や襖もない状態だったといえます。以後の歴代住職が少しずつ復興に努め、現在に至ります。

Q2 少林寺拳法を始めた経緯は？

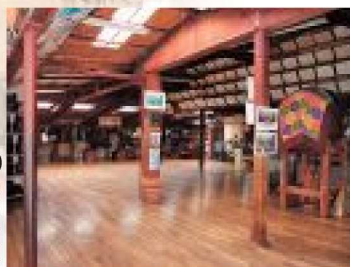
森川是汪師 三福寺 33世住職
（もりかわ ぜおう）
昭和4年、愛知県半田市生まれ。昭和22年、同市板山安養寺より三福寺へ入寺。西山専門学校卒業。昭和45年、住職就任。この間、少林寺拳法を学ぶ。道場を開設して青少年の指導育成に尽力。金剛禅総本山少林寺洛東道院長・正範十八段。

少林寺拳法は、開祖の宗 道臣大禅師が、戦中戦後の厳しい体験から、本當の平和のための人づくりの道として、昭和22年に香川県で始められたものです。10数年後、禅師が京都にいられた際、檀家のおばあさんの紹介でお会いすることができ、京都の第一期生として直接ご指導いただきました。

昭和41年6月、境内に道場「洛東道院」を開設。掃除・經典の読誦・法話・実技を通して、単なる武術やスポーツではない、お釈迦さまの正しい教えを現代に生かす人づくりの行として、門下たちと精進をさせていただいております。現在までに門弟は四千名を超え、今は二人の息子も指導に当たっています。



夢見地藏堂



150畳の道場

Q3 座右の銘を教えてください。

これはたくさんありますが、一つ挙げるならば「人をよるこぼせて、自らのよるこびに」です。「自利・利他」という大乘仏教の精神ですね。争いのない、平和な世界を実現するためには、みんながこの心を学ぶことが必要です。それが少林寺拳法の理念であり、私の信念でもあります。

Q4 「ちかい」読者に一言お願いします。

道場に「拳禅一如」という額を掲げておりますが、これは「身体と心は一つ」ということです。

今の子どもたちを見ていると、挨拶が出来ない、ぞうきんのかけ方を知らない、自分の身の回りを片付けるといふ基礎ができていない。仏教とは、知ることではなく、行ずる道です。頭を下げる、手を合わせるという習慣。毎日のこはんと一緒、日常の基本的なことが大切ですよ。

Q5 「ちかい」読者に何かいただけますか？

花挿し、筆立てなどに使った花柄も鮮やかな初夏のお庭を背景にして、朗らかな語り口の中に、指導者の厳しさとやさしさを拝見いたしました。



庭園



日頃の修行風景

【交通】

JR京都駅より、市バス206系統「東山二条」停留所下車、西へ100m

【主な行事】

- 1月1日 修正会
- 春秋彼岸中日 彼岸会
- 6月頃 洛東祭（少林寺拳法演武会）
- 8月12日 盆施餓鬼会
- 8月23・24日 夢見地藏盆

【お問い合わせ】

三福寺
〒606-8353
京都市左京区正住寺町463
TEL 075-771-8749 FAX075-771-8749